

ドレン用逆止弁 NDB 取扱説明書

2023年 9月 11日

因幡電機産業株式会社
技術本部

目次	ページ
1. お客様へ	3
2. 施工業者様へ	3
3. はじめにお読みください	3
4. 製品仕様	4
5. 施工要領	5
6. 点検方法	6
7. 営業窓口	7
お客様へ大切なお知らせとお願い	8

1. お客様へ

- 施工は必ず専門業者へ依頼してください。
- ご不明な点は、巻末に記載されている営業窓口へお問合せください。

2. 施工業者様へ

- 施工前に本取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 本製品は定期的な点検およびお手入れが必要です。添付の「使用上のご注意」の内容を使用者様へご説明のうえ、同書をお渡し願います。

3. はじめにお読みください（正しく安全に使用いただくための注意）

本製品は冷凍・空調ドレン排水用です。他の用途には使用しないでください。

通告

下記が守られなかった場合、物的損害をおう可能性があります。

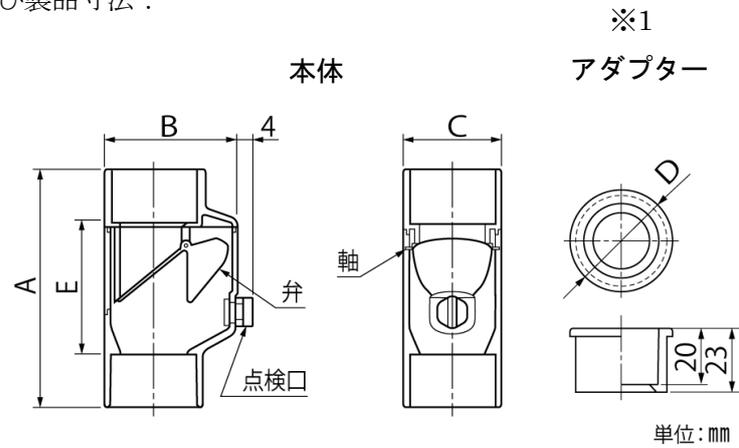
- 本製品は接着接合となっています。接着面のゴミ・油・ホコリなどを完全に除去した上、塩ビパイプ用接着剤で接合してください。
詳しい接合の方法は接着剤付属の取扱説明書を参照ください。

【お願い】

- ・ 汚水・下水管への直接の接続不可。腐臭や汚水の逆流などを発生させる原因となります。
- ・ 凍結のおそれのある環境では使用できません。
- ・ 本製品は気体を完全に密封するものではありません。使用状況により多少の外気が侵入する場合があります。また、極端な室内側負圧環境下では効力を発揮しません。
- ・ 本製品に接続する塩ビ管は、なるべく本製品に近い位置を支持固定して、外部からの応力が本製品にかからないようにしてください。
- ・ 清掃時は、洗剤やアルコールなどの有機溶剤は使わないでください。また、洗浄後は逆止弁に付着した汚れを洗い流してください。
- ・ 屋外で使用する場合は紫外線（直射日光）が当たらないようにしてください。
- ・ 長期間使用しなかったり、付着物などがある場合は、正常に弁が動作することを確認するために、点検口からドライバーなどで弁を動作させて確認してください。
- ・ 使用環境により、著しい付着物などで弁が正常に動作しない場合は、交換してください。
- ・ 本製品は樹脂製です。高温になる場所や衝撃を受けたり歪みが生じる場合での使用・保管はやめてください。ドレン管の熱膨張などによる歪みが生じると破損する場合があります。

4. 製品仕様

材 質 : 本体…ABS (透明)、弁・栓…PP、軸…ステンレス
 使用環境温度 : 0 ~ 60°C (凍結しないこと)
 許容静圧 : -1000Pa ~ 0 Pa
 適合サイズおよび製品寸法 :



型番	適合サイズ※2	A	B	C	D	E
NDB-20-25	ND-25、VP-25 (ND-20、VP-20) ※3	90 (96) ※3	51.5	39.5	φ 36	50
NDB-30-40	ND-404、VP-40 (ND-304、VP-30) ※3	112 (118) ※3	75	56	φ 52	75
NDB-50	VP-50	135	92	68	—	85

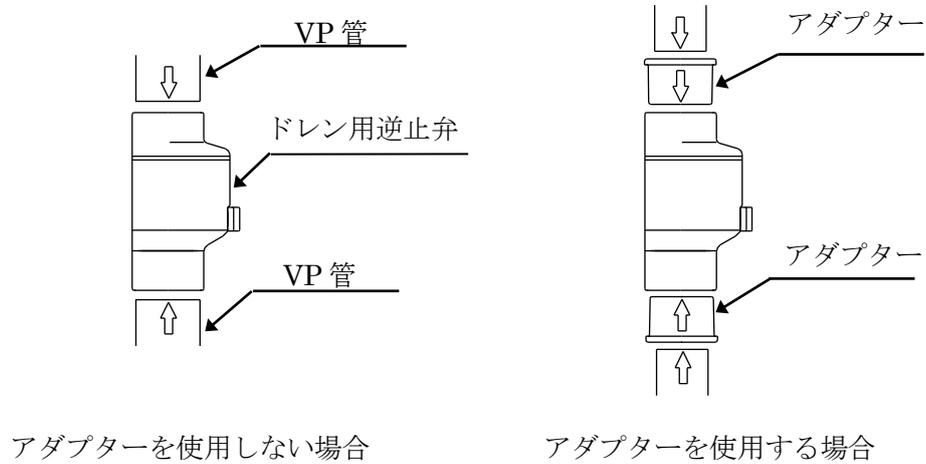
※1 NDB-50 にはアダプターは付属しておりません。

※2 結露防止層付き塩化ビニル管を接続される場合は、市販のアダプターでサイズ変換してください。(NDB-20-25 には、市販のアダプターが使用できませんので注意してください)

※3 () 内は付属のアダプター使用時。

5. 施工要領

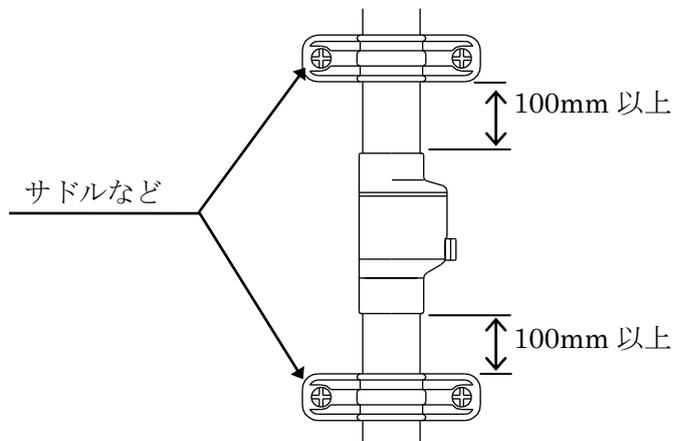
- (1) ドレン用逆止弁の上下に VP 管を差し込み、接着剤で接合してください。
VP-20 または VP-30 を使用する場合は、あらかじめ付属のアダプターを本体に接着接合した後、VP 管を接着剤で接合してください。



(注意)・VP 管の接合部のバリはきれいに取り除いてください。VP 管が奥まで挿入されず、漏水の原因になります。

- ・弁の動作が確認しやすい方向に向けて取り付けてください。

- (2) ドレン用逆止弁を垂直にして、VP 管をサドルなどで確実に支持固定してください。本製品とサドルとは 100mm 以上離してください。

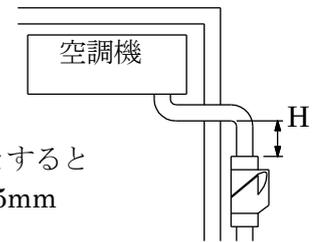


- (3) VP 管のぐらつき、接着剤のタレがないことを確認してください。

(施工上の注意)

誤った施工を行うと、水漏れにより周囲への浸水が生じる可能性がありますので、施工時には下記の事項を必ずお守りください。

- 本製品の取り付け高さ H は **15mm** 以上としてください。
ただし、使用する機器によって負圧が生じる場合は次式から求めてください。
 - 換気機能付き空調機を使用する場合
 - (例1) 機器の静圧(負圧)が $10\text{mmH}_2\text{O}(=100\text{Pa})$ とすると
 取り付け高さ $H \geq \text{静圧 } 10\text{mm} + 15\text{mm} = 25\text{mm}$
 - 密閉庫内で冷蔵・冷凍機を使用する場合
 - (例2) エアリリーフ弁の開放圧力(または庫内の負圧)が $25\text{mmH}_2\text{O}(=25\text{kgf/m}^2)$ とすると
 取り付け高さ $H \geq \text{負圧 } 25\text{mm} + 15\text{mm} = 40\text{mm}$



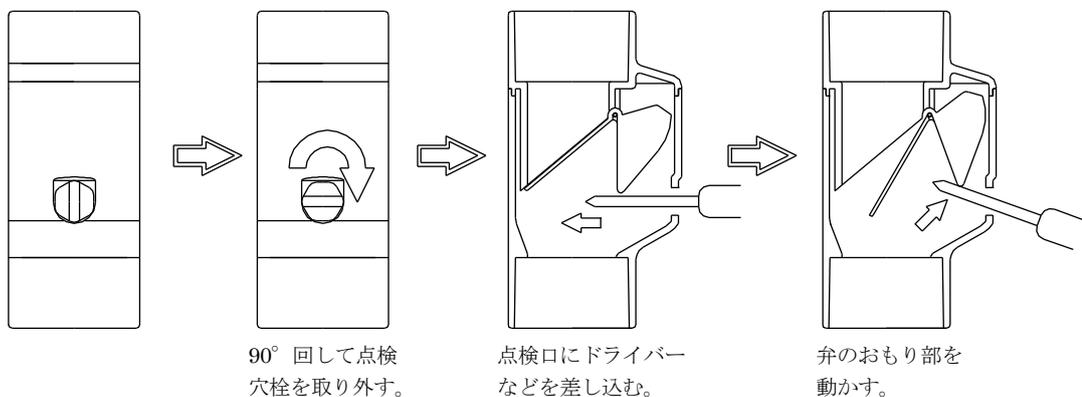
- 取り付けは垂直に施工してください。傾けたり、横向き、逆さでの使用はやめてください。
- 本製品とドレン管を接着剤で固定する場合は、接着剤の塗りすぎに注意してください。弁に接着剤が付着しますと弁が動作しなくなります。
- 施工後には、点検口からドライバー等を差し込み、弁が正しく動作するかどうかを確認してください。
- 本製品は清掃または交換を要します。周囲にメンテナンス用の空間を十分に設けてください。
- 本製品を取り付けた配管は、異臭を伴う排水管に接続しないでください。
- 本製品は冷凍・空調ドレン排水用です。他の用途には使用しないでください。
- 凍結のおそれがある環境では使用しないでください。
- 屋外で使用する場合、紫外線(直射日光)が当たらないようにしてください。

6. 点検方法

- (1) 点検穴栓を 90° 回して、取り外してください。

(注意) 取り外した点検穴栓は、無くさないように注意してください。

- (2) ドライバーなどを差し込んで、弁のおもり部分を動かしてください。



- (3) 点検後は、逆の手順で点検穴栓を取り付けてください。

7. 営業窓口

営業窓口は、下記ウェブサイトをご覧ください。

営業所一覧：<https://www.inaba-denko.com/ja/>

以上

お客様へ大切なお知らせとお願い

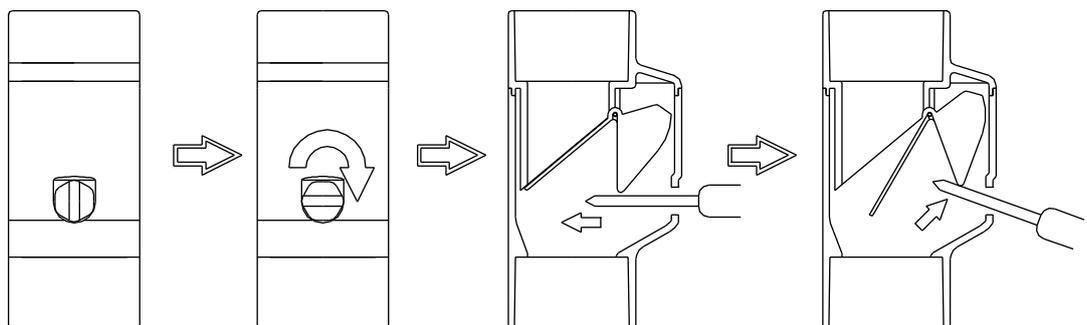
「使用上のご注意」

お客様のエアコンの排水管には、ドレン用逆止弁 NDB が設置されています。
本製品は、定期的な点検および清掃などのお手入れが必要です。
下記注意事項をよく読んで使用頂くとともに、本書を大切に保管願います。

- 夏季冷房運転開始時期および長時間使用しなかったり付着物などがある場合は、正常に弁が動作することを確認するために、点検口からドライバーなどで弁を動作させて確認してください。
付着物などで弁が正常に動作しない場合は交換してください。

「点検方法」

- (1) 点検穴栓を 90° 回して、取り外してください。
(注意) 取り外した点検穴栓は、無くさないように注意してください。
- (2) ドライバーなどを差し込んで、弁のおもり部分を動かしてください。



90° 回して点検
穴栓を取り外す。

点検口にドライバー
などを差し込む。

弁のおもり部を
動かす。

- (3) 点検後は、逆の手順で点検穴栓を取り付けてください。

※清掃時は、洗剤やアルコールなどの有機溶媒を使用しないでください。
また、洗浄後は逆止弁に付着した汚れを洗い流してください。

上記の注意事項をおこたりますと、弁が開かずにドレン排水が室内機から漏水するおそれがございますので、十分に注意してください。

因幡電工カンパニー

因幡電機産業株式会社

<https://www.inaba-denko.com/ja/>